



主人じゃないのに

by Rito Aio
相尾リト

成年
コミック

私は
~泥酔人妻ねっちより交尾録~
エッちゃろ

アシオナ comic



乳首も
感度が高まって
ピンピンに

刺激が強すぎて
体がどんどん
敏感になってる



お〇んこと乳首
両方攻められるの
大好きなんだね



やっぱり僕達
相性バッチリ
なんだね

一緒に働いてた時から
ずっと僕のモノだと
思ってたのに...



体も心も
追い詰められて

どうにか
なっちゃいそう



会社で
見せなかった姿

はっ



またイキ
そうなのかな？

いいよ
僕がイカせて
あげる

んあ

んあ

あ…また
イっちゃう…ツ

こんな状態で
朝まで持つわけ…



イキたく
ないのに…
イっちゃう…ツツ

あーあーあーあー

ぜーんぶ
見せちゃってよ♥

やだ…やだ…

グググ

グググ

グググ

5時間前：

主人の誕生日プレゼント
を買いに行く為に都内の
デパートに出かけた
その帰り

まさか一ノ瀬と
再会するなんて
驚いたよ

退社してもう
4年か…時が
経つのは早いなあ

昔の上司と
ばったりと出逢った
結婚前に働いていた
大手の通信会社で

新米だった時から
私をサポート
してくれた
尊敬の出来る先輩

いやあ…

実は主人
短期出張の
最中なんです

帰っても
一人だから
羽伸ばそう
かなって

買い物帰って
言ってたけど
時間は大丈夫かい？

本当

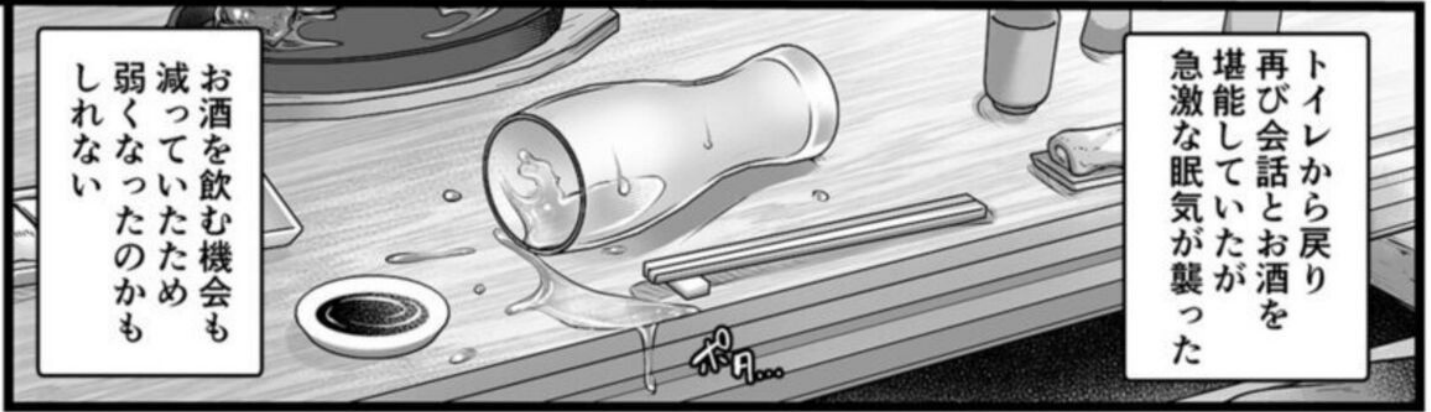
私も驚きましたよ
中野課長とばったり
会うなんて
思いませんでしたよ

あつ
すみません…

私ちよつと
お手洗いに

ああ…

どよめ



お酒を飲む機会も減っていたため弱くなったのかもしれない

トイレから戻り再び会話とお酒を堪能していたが急激な眠気が襲った



んっ…
和仁さん…



んっ…



それから課長の肩を借りてお店を出て…

はあ…

彼は何か言っていたけれど覚えていない…



旦那さんとのセックスを思い出してんのかな

彼女のおっぱいの面倒をしっかりと見ているのかね...全く

服越しでも予想出来ていたが胸の柔らかさ...想像以上だね



...こんなスケベな体目の前にして手を出さない方が失礼だよ

うん...これは合意だよねこんなに無防備でいてくれるし



彼がない分一ノ瀬のカラダは僕がちゃんとしてあげよう

んむ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ











大丈夫だから
会社時代と同じで
僕に任せてよ

あー

んんっ

…あっ



こんなに膣内を濡らして
ヒクつかせてるのに
嘘はよくないなあ…

ちが…
私には主人が

んんっ



旦那さんがいるのに
エッチな声
出ちゃってるの
気づいてる？

主人のと違うのに…
気持ち悪い筈なのに
感じてるの…私！



体も心も
僕に委ねてよ
由衣

…い…やっ…

あー

嫌なのに何で
やらしい声
出ちゃってるの……



やっぱり想像通りだ…
結衣の膣内(なか)が
僕のち○ぽに絡みついてくる

…ダメ…え

奥が熱くて…
ジンジンする

由衣はココが
好きなんだね
じゃあもつと
奥の方もゴリゴリ
してあげるね♥

あっ…このままでと…
私イっちゃう
主人のじゃないのに



他のお○んぽで…
そんなの…ダメ…!

ズッ
グッ
カッ



おっと…
旦那さんから
電話だね

和仁さん?!



ん…?
由衣のスマホか



どうして
こんな事に…

さて続きを…

昔の上司なのに…
ただ偶然会って楽しく
話してただけなのに…
いつの間にか
セックスして…



もしもし?
由衣?

ごめん忙しかったけど
着信長かったけど

ううん…
今…帰り道



ほら早く出て
あげないと

えっ?!



由衣の声
聞きたく
なっちゃってさ

そっか俺は今
やっと休憩…
っていつてもすぐ
会社戻るんだけど



通話中に…
なってる!



きつと…



和仁さんの優しい声
私に向けてる信頼が
電話越しでも伝わる

あなたの声
聞けて嬉しい…

彼に今の状況を
言えば…きつと
助けに来てくれる…



由衣?
どうかしたか?

ガク

ガク

ガク



そっか
あ…
やべ…呼ばれてる
そろそろ
行かないと

電話が
切れちゃう…
…はやく

っ…お仕事…
頑張ってる…ね



あ…

大丈夫…
荷物が多くて…

伝えないと…
早く…



今日の出来事も
中野課長のコト
忘れよう…

も…帰るんで
…っ早く終わらせて
ください…



はあ……
ドキドキしちゃったねえ
こういうスリルは
日常じゃ味わえないし

…言えなかった



冷たいなあ…

そうしたら



けど僕も我慢の
限界近いから

中出し?!

このまま膣内^{ナカ}に
出すね

だ…
ダメです
中出しなんて!!

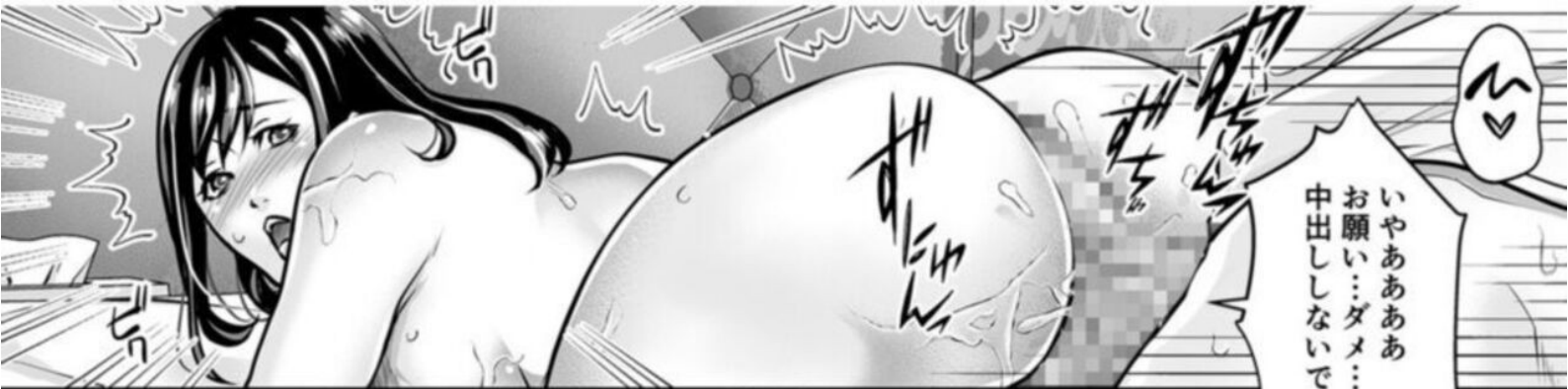


ダメダメ
合意なんだから

記念なんだし
動画でも残そうか

なっ!!

お互い最後まで
気持ちよくなら
ないとねッ!



いやああああ
お願い…ダメ…
中出ししないでえ…



だいぶ形が
馴染んできたね



ダメダメえ



出さないで膣内に
出さないでえ!

熱い…奥が
熱いよ

あゝ…イクイク
由衣出るう〜…ツツ

ヤ…あ



私は中野課長の
言いなりになるしか
他になかった

夫婦生活が
壊れるのを恐れて



しかし中野課長は
一度きりの関係で終える
つもりがなかった…

何度も連絡してきて
しまいにはあの日の動画を
旦那の会社を送りつけると
脅してきた



日を追うごとに
私自信に変化が現れて

心地よかった旦那との
セックスは物足りなさを
感じるようになり…



あれから数ヶ月...

もひ...もし?
...んっ...出張は
...どう...?

はっ

はっ

うん

んっ♡

そっか...
お仕事

頑張っ...てね
んう...

私は週に一度
中野課長と逢って
セックスをしている

電話越し旦那の
声を聞きながら

はっ

んっ♡



体調?
...悪くないわよ

課長のお〇んぼを
受け入れるスリルが

電波が少し
悪いのかも...

たまたまなく
快感になってしまった

あッ♡

んっ♡



週末のディナーより
本日のメインディッシュ
のが楽しみなんじゃ
ないのかな?

由衣は...



んぐっ

週末のディナー
楽しみにして
...んっ

んっ!



アシオナcomic

主人じゃないのに私はイツちゃう ～泥酔人妻ねっちより交尾録～

著者 相尾リト

レーベル アシオナcomic

★この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。

★本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。
